



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
「ロータリー米山記念奨学会」
国際奉仕委員会 清水 陸委員長
- 次週予定
「合同宿泊学習の様子 ～これからの自立に向かって～」
留萌小学校校長 尾崎 信幸様 他2名

- 会員誕生日
10月12日 福士 幸子
- 結婚記念日
10月6日 福士 幸子
10月8日 河部 勲
10月10日 森 俊二

No. 2436

第13回 10月6日

出席報告

前例会

会員総数……………44名
出免会員……………6名
出免出席……………3名
出席会員……………27名
出席率……………73.17%

前々会

第10回 9月15日

欠席会員……………13名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………69.04%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告 ……………

1. 佐々木ガバナーと地区大会信任状委員会の矢橋委員長より地区大会信任状証明書用紙が届きました。

信任状証明書は地区大会における議決が必要な議案の選挙人を選定し、地区大会開催までに信任状委員会に届け出るものです。

尚、会員38名～62名迄のクラブは選挙人2名となっておりますので、明日の理事会に於いて2名の選挙人を選任し、信任状委員会に提出いたします。

2. 留萌市など主催の「健康日本21推進留萌大会・るもい健康いきいきフェスタ」が10月3日(日)るもい健康の駅、留萌合同庁舎で開催され、「健康フォーラム」や「食と健康」などの催しが行われます。

主催者より留萌ロータリークラブ会員の皆さんにも多く参加をして欲しいとの要請がありました。

健康の為のイベントですので多くの皆さんの参加をお願いいたします。

📁 幹事報告 ……………

- 地区社会奉仕委員会より「そらぶちキッズキャンプ」活動報告書の提出依頼がありました。
- ガバナーの指示で地区の社会活動の現況を1冊にまとめるとの事です。
- 第9回ロータリー全国囲碁大会案内を受領しました。
- 米山記念奨学会寄付金納入明細書を受領しました。

- ・ロータリー財団クラブ別寄付金明細書を受領しました。
- ・麻薬・覚せい剤乱用防止センター募金箱を受領しました。

委員会報告

地区WCSメンバー 西谷(英)会員

WCSの新事業で留萌ロータリークラブからも50,000円の事業費負担として送金しました。留萌ロータリークラブの分はタイのノンカイの浄水器の費用に当てられることに決定しましたのでご報告いたします。ちなみにタイのノンカイでは浄水器の他に奨学金、タイのチェンマイではガムの緑化事業、タイの東北地区では移動歯科と浄水器、モンゴルでは日本語図書を設置、インドネシアでは孤児院の浄水器となっております。また、検証ツアーが平成23年2月9日から2月13日までの5日間で行われます。定員人数は25人です。

愛好会

麻雀愛好会

〈第2回成績表〉9月29日(水)

優勝	越野 俊興	45,700点
準優勝	関野 政人	20,200点
1位	山本 譲二	17,300点

ニコニコBOX

- ・会長の奥様が入会した形になりました すみません 鈴木会員
 - ・田中・西谷(恭)両会員ありがとうございました 別件で河部・中川・遠藤会員毎度ありがとうございました 森(俊)会員
 - ・田中先生、河部会員DVD、写真ありがとうございました 渡部会員
 - ・ちょっといいことがありました 関野会員
- | | |
|----|----------|
| 前回 | 405,000円 |
| 今回 | 5,000円 |
| 累計 | 410,000円 |

プログラム

「我が生き立ち」

長谷川哲哉 会員



1) 出生から高校卒業まで
 出身は初山別村字有明です。父親は農業を営み4代目でした。私で5代目です。姉弟は4人で姉2人妹1人の4人姉弟です。有明小学校・中学校ともに男子5人女子5人の10人のクラスで9年間過ごしました。

中学生の頃、学校から帰宅し机の前で勉強しているふりをしてしていると、父親がやってきて「何勉強なんかしているんだ。仕事を手伝いなさい。」という教育不熱心な父親でした。

高校は羽幌高校に入学しました。担任の教師は、北大理学部数学科を卒業し初めて担任を持った25才の数学教師でした。

受験に役立つ数学を教えてくれるものだと思っていたんですが、自分で作成したプリント授業ばかりでした。「このプリント授業が将来人生に役立つんだ」とばかりいってました。案の定、受験には役立つどころかおかげで数学が苦手になり、現在に至るです。

3年間担任を持ってもらい、最初で最後の担任ということもあり、現在もクラス会には顔を見せてくれる最高の恩師です。

2年の夏休みのことです。何を思ったのか自転車で旅をしようと思いました。

当時「バイコロジー」という世相でした。自動車やバイクではなく、自分の足で旅をしようという発想です。

クラスメートと二人で、自転車で北海道を回ろうと計画しました。彼は道南に行きたいと、私は道東に行きたかったものですから、意見が合わず「じゃ、別々に回ろう」と言うことになりました。

初めての一人旅でした。有明を出発し、留萌を経由し旭川に到着。旭川駅が最初の宿泊地です。駅前には沢山の大学生らしき寝袋軍団がいました。田舎者の私には驚きでした。それから

層雲峡、美幌、川湯、斜里、そして目的地の一つである知床を目指しました。10泊11日の旅でした。いずれも当時ユースホステルという1泊2食1,000円のホテルがあり、これを拠点に旅をしました。

6日目に到着したのが、知床にある岩尾別ユースホステルでした。電気もなくランプだけのユースでした。岩尾別ユースに2泊しました。そこで出会った大学生に「温泉に行こう」と誘われて、知床深く山奥に「カムイワッカの滝」と呼ばれる滝壺が温泉になっているところに、二人で砂利道を自転車で行きました。川を上って沢をこいで行くと滝があり、滝壺にちょうどよい湯加減の温泉がありました。オホーツク海を目の当たりにした絶景なる秘境温泉でした。大学生と二人で湯につかっていると、そこに女子大生とおぼしき3人グループがやってきて、キャーキャー言いながらタオルで前だけ隠して滝壺に入ってきました。女子大生と混浴状態です。私は下半身に異常な興奮を覚え、滝壺から出ることができなくなりました。

大学進学に対するあこがれは、この辺からの不純な発想にあります。東京に行くとは女子大生と仲良くなれるのではないかとか。

2) 大学時代

いくつかの希望する大学に断られ、横浜にある神奈川大学経済学部貿易学科に入学しました。本人は傷心の身で上京したのに、父親は大変喜んでいました。それはなぜかと言いますと、学費が安かったからです。前期6万円、後期6万円、年間12万円でした。当時6大学の文科系の授業料は平均30万ぐらいしたと思います。加えて学生寮に入ったのですが、寮費が無料、水道光熱費無料、使い放題でした。学生自治会が大学当局と寮費無料の団体交渉を、過去10年以上戦ってきたからです。両親からの仕送り3万円で充分生活できました。

学生食堂も安く、ライス、味噌汁食べ飲み放題でした。そんな大食堂の片隅になぜか竹竿やヘルメットが転がっていました。最初はわかりませんでした。

神奈川大学みやも寮は当時、社青同（社会主

義青年同盟）旧社会党の下部組織の拠点校になっていました。毎晩ミーティングがあり、狭山事件の石川君は冤罪だとか、他のセクト、革マル、中華の内ゲバの状況やらと延々と討論する集団でした。そして、最後に必ずインターナショナルを歌うのです。

このまま、この寮にいと自分はヘルメットをかぶり、サングラスをかけ、マスクをつけ、手には鉄パイプを持った過激派になるのではないかと、ナンパな気持ちで上京してきた自分ではないと思い1年半で寮を出ました。それからの2～3年はバイトに明け暮れました。

3) 就職活動

大学4年になりそろそろ就職活動しなければと思い、担当ゼミの教授に数枚推薦状を書いてもらい、東京には初山別村出身の田舎者の自分は住めない悟り、北海道にUターンする決心をしました。

父親に「北海道に帰るから」と電話をすると案の定非常に喜んで、いいだけ4年間遊ばせたのだから農家の跡継ぎをしてくれると思ったのでしよう。

拓銀は最初から大学指定制だったので全然お呼びでない。北海道銀行に会社訪問しました。本店人事部の部長代理のMさんと面接させていただきました。「君、何しに来たの」と言わんばかりの態度でした。すぐごとと退散しあきらめました。

当時の信用金庫業界は、現在もそうなんです。「相互扶助、地域密着」の経営理念を掲げておりました。田舎者の自分にはぴったりだと思い、留萌信用金庫に会社訪問しました。当時の本店、現在の中央支店の2階の総務部に訪問しました。森田課長、浜辺部長と面接し、「理事長に会わせて下さい」とお願いすると、現在入院中で無理だとのこと。

「それでは、次の方に」とお話しすると、当時の古川専務(故元理事長)と面談することができました。持参した推薦状と成績表を一瞥し「浜辺君、すぐ採用してあげなさい」と言ってくれました。ずいぶん話のわかる専務さんだと思ったんですが、さすが浜辺部長「10月1日

に試験がありますから、それに合格してから」と。留萌信金も組織なんだなーと思いました。

4) 社会人になって

最初の赴任店は旭川支店でした。貸付係としてスタートです。入庫間もない頃、貸出書類である稟議書を担当常務に持っていききました(新入職員のパシリ貸付係の仕事)。

するとサァーと目を通していきなり「こんな稟議書で金貸せるかー」と怒鳴られ、赤ペンで稟議書一面に大きくバツテンの印、「書き直した」とまくし立てられました。ふと顔上げ「なんだ君だったのか」と言われました。私は新入職員で、まだ稟議書なんか書けもしない単なるパシリ貸付係だったからです。この怒鳴られた常務が対馬常務で、ここにおられる対馬会員の叔父さんに当たる方です。

昭和55年7月15日、入庫後4カ月経過した朝一番に先輩女子職員から「長谷川さん田中常務から電話です」といわれました。店内は一瞬静まり返りました。何こそしでかしたのかと上司は思ったのでしょうか。人事担当常務であり、仕事に厳しい役員だったからです。「誕生日おめでとう。仕事ががんばりなさい」バースディコールでした。この田中常務が田中会員のお父さんでした。

当時の役員、特に3常務は非常に仕事に厳しく且つ個性的でありました。今日の金庫の成長力の源といって過言ではないでしょう。

旭川支店を皮切りに、旭川北支店、あたご支店と15年間旭川市内勤務でした。その間結婚し子供ができ、住宅を購入し、生活の基盤が旭川になりました。

平成7年、留萌信金に入庫して初めて留萌入りしました。駅前支店に転勤になり5年間、その後札幌西支店3年間、中央支店2年間、初支店長がかつての旭川市内のあたご支店2年、駅前支店3年、そして、本年4月に本店営業部に配属になり勤続30年になりました。

5) 最後に

駅前支店時代は、3年間みなとライオンズクラブに所属し、45周年のイベントにも微力なお手伝いをさせていただきました。

現在は、最大且つ最強のボランティア団体である留萌ロータリークラブに入会をさせていただいて、大変光栄に思っております。

「一期一会」という言葉を大切に、新しい出会い、自分の人脈を広げさせてくれる機会に感謝をしております。

守るべき非常に大切なものは何なんだろうと思うことがあります。

自分の生活の基盤である職場・組織、あるいはもっとも身近な家族であったりします。

サラリーマン人生後半にさしかかり、自分の人生を豊かにしてくれる存在それは友人なのかと最近つくづく思います。

これからも、守るべき大切なものをしっかり守っていくよう精進してゆきたいと考えております。

辻本 哲也 会員

自分の生い立ちを皆さんに、わかり易くお伝えするのは、大変難しい事だと思います。かれこれ53年も生きてきたことを、30分にまとめて簡潔に、尚且つ退屈しないように話さなければなりません。

口下手なため、意を尽くした表現で無いところもあるとは存じますが、宜しくお願い致します。

まず、生まれは昭和32年9月11日、父弘道、母キノ子の次男として、錦町4丁目にありました佐々木産婦人科にて産声を上げました。

やんちゃ坊主で、生傷の耐えない幼少時代であったと聞いております。(確かに、未だにあちらこちらに、傷跡が残っております)。

幼稚園は2年保育で、当時の指川電器の息子とコンビを組んで、お山の大将でありました。丁度、幼稚園に通うようになった年の5月に中央スーパーがオープンしております。両親にかまってもらえない普通の次男坊で、好きなように楽しく幼稚園を卒業いたしました。思い出として、お弁当を持たせてもらえず、毎日100円を持ってうすき商店という所で牛乳とパンを



買ってお昼ごはんにしておりました。そのおかげで、今でもパンは大好きです。

小学校は東光小学校に通わせていただきました。この頃も、喧嘩は負けなし、でも弱いものいじめはいたしませんでした。勲章としては、中庭の回転シーソに指をはさんで、肉が飛び出たり、机のかどに頭をぶつけて2針縫ったり、スキー大会に出て、足にストックを刺して縫うことになったり、本当に落ち着きのない子供でありました。

よい事もありました。1年生から書道を習わしていただき、毎年道展に入選をしておりましたし、弘法大師の全国展覧会では銀賞をいただきました。

中学に入りますと、生活態度が一変いたします。今まで同じくらいの体格だった、喧嘩相手がみるみる大きく成長し、私はという見えて通りの、小男でありますから、少し大人になって勉強の方で頑張ろうという事にしましたが、今まで遊んでばかりの子供が、そう簡単に勉強が出来るようにはなりません。

元来、知能の方もそう高くはないので、苦戦いたしました。私を変えたのは3年生のときの出来事です。その日は初めてのデートをした日でした。勿論、人目を忍んで裏通り、人気のない道を二人で歩いて、黄金岬へ行って幸せ気分で帰宅しますと、母が「今日はデートだったんだって」と言うではありませんか。この時、この街にはプライバシーが存在しない。絶対に町を出て行くぞと心に誓いました。

しかし、地方の高校に行くためには、ある程度の学力がなければならぬのです。何とか、親を説得し旭川の高校に行かせていただきましたが、これが又、監視の無い自由な生活に慣れていない私にとって、自分を管理できない状態になり、遊び放題してしまいました。

当然、大学も入学できず、二浪する破目にあってしまいました。人生やはり努力しない者には厳しいものです。

何とか、入学を許して頂いたのは、高千穂商科大学という所でした。今度こそは遅れを取り戻さなくてはと、真面目に通学し3年で卒業単

位を取得いたしました。3年で卒業させてくれる筈も無く、4年目は毎日マージャンをする羽目になってしまいました。雀荘の主のようになるくらい、雀荘に居りました。

何とか卒業いたしますと、今度は就職であります。東京にあります、CGCを主幹しました三徳というスーパーに3年務め、肉・野菜を一通り実践し、店長にしてやると言って頂いた頃、父から帰って来いと命令が下り帰省と相成りました。

中央に入社した時は、ビックリ市という催し事を成功させる仕事でありました。

経験を活かしまして、東京の中央市場より野菜を直納してもらって、お客様に支持を頂き、売上を一億伸ばした功績で店長に、そこで又一億売상을伸ばして、雑貨担当バイヤーになり、三ヶ月後には、深川事業部の立ち上げにより、事業部長、本部に帰って、商品部長、常務取締役、専務取締役を経て、辛い時代に社長となりました。

現在、妻、長男と三人暮らし、長女は札幌にて就職させていただきました。

今後とも社業に励んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。ご静聴ありがとうございます。

~~~~~  
(先週の続き)

## <小平ロータリークラブ創立>

1974年5月15日

小平ロータリークラブ創立総会

1974年7月3日

拡大委員会、加地委員長ほか15名

1975年6月22日

小平RC国際ロータリー加盟認証状伝達式が行われた

## <羽幌ロータリークラブ創立>

1979年5月18日

羽幌ロータリークラブ創立総会

1979年6月30日

ホストクラブ留萌RCとして羽幌ロータリークラブ認証状伝達式

## 第12回 9月29日(水) 天候/曇

### <地区委員選出>

クラブ活動が拡大し1974～75年に初めて地区委員を出した。活動は地域から地区へと拡大した。以後、多くの会員が地区委員の任についている。

ローターアクト 石川 健二  
青少年奉仕 阿部 清晴  
国際青年交換 対馬 良行

### <分区代理選出>

対馬良行会員が選出された。分区代理とは何か?とよく理解されずクラブ内で討議された。私は入会間もない時期で理解できなかった。

### <創立30周年式典>

実行委員長/石川健二  
副実行委員長/久保田八十八、坂井 清  
下川安長、香城芳麿  
式典幹事/道 重幸、二ノ宮清信  
式典S A A/高田 潔、中川勝美  
総務/越野俊興 会場/平井誠治  
論山担当委員会/田中公一  
記録/清水 陸 30年記録/清水、鈴木  
他 全会員の協力で終了した。

○1990～91年 社会奉仕委員会の小分類委員会  
委員長 岩崎文雄会員

活発なクラブフォーラムの上、小委員会に分けられた。

○就職相談、職業指導、職業情報、職業活動表彰  
R I 会長が取り上げ即実行した。有効な効果を上げず、地域内は札幌東RCほか少し。

○ロータリー情報委員会1990～91年度、清水陸  
委員長の時、家庭集会でガバナー選出の可能性について討議された。

後に富山唯夫ガバナー選出となる。

### <女性会員入会の可否>

フォーラムで賛否をとった。殆どの会員は反対。現在は反対する人はいない。1984～85年、第24代会長平井誠治会員の時に幹事を仰せつかった。細かい事務処理の不得手な私は仕事の合間非常に忙しい思いをした。当時はパソコンもなく大変でした。

時のR I 会長は、カルロス・カンセコでテーマの一つとして、ポリオ撲滅をあげた。その後、ポリオプラスとして長期にわたり継続された。

フィリピンのマニラで開催された国際大会に平井会員と出席した。おそらく大阪万博の時だと思う。カウンターで家庭を訪問したいと話すと、後ろにいた中年の女性に家に来てくださいといわれた。お土産店経営のガレロさんのお友達で、マニラ郊外のビレッジ住宅に案内された。良い時代の思い出である。

### <地区の出席競争>

その時の出席委員会委員上野良昭委員長は重点目標に「何故出席100パーセントを目指すのか。今一度基本に帰り…その目的を遂行する」を挙げた。1990～91年は月間100%を継続し、3月のみ98.09%であった。クラブ活動は活性化した。地区内でも絶えず上位を占めた。その状態が長く続き、地域の上位活性化クラブとされた。

### <私の30周年時の記憶と今後に望むこと>

留萌RCは活力のあるクラブである。それは地域に住む人々の特性だと思う。管内の経済基盤が弱体化し、地域の活力が減退しても、人々の特性は失われず、会員は減少しても今こそ原点に戻り、クラブの活性化に何が必要であるかを考える時だと思う。創立50年は再生元年にしては如何ですか。

## 例会プログラム【10月】

10月6日(水) 「ロータリー米山記念奨学会」  
国際奉仕委員会 清水 陸委員長

10月13日(水) 「合同宿泊学習の様子  
～これからの自立に向かって～」  
留萌小学校校長 尾崎 信幸様 他2名